

宮城県大崎保健所栗原支所 感染症発生動向調査情報

令和6年9月12日 発行

1. 発生動向

上段は発生患者数、下段は定点当たり

疾病	疫学週				判断基準(定点当たり)		
	33週	34週	35週	36週	警報レベル		注意レベル
	8月12日～8月18日	8月19日～8月25日	8月26日～9月1日	9月2日～9月8日	開始基準値	収束基準値	基準値
インフルエンザ#	0	1	2	11	30	10	10
	—	0.33	0.67	3.67			
新型コロナウイルス感染症#	56	78	53	71	-	-	-
	18.67	26.00	17.67	23.67			
RSウイルス感染症	0	0	1	2	-	-	-
咽頭結膜熱	0	0	0	0	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0	0	0	0	8	4	-
感染性胃腸炎	0	6	6	4	20	12	-
水痘	2	1	1	0	2	1	1
手足口病	6	9	22	18	5	2	-
伝染性紅斑	0	0	0	0	2	1	-
突発性発しん	0	0	0	1	-	-	-
ヘルパンギーナ	5	0	3	1	6	2	-
流行性耳下腺炎	0	0	0	0	6	2	3
急性出血性結膜炎	定点設定なし				1	0.1	-
流行性角結膜炎	定点設定なし				8	4	-
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	定点設定なし				-	-	-
無菌性髄膜炎	定点設定なし				-	-	-
マイコプラズマ肺炎	定点設定なし				-	-	-
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	定点設定なし				-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	定点設定なし				-	-	-
マイコプラズマ肺炎(小児科)	0	0	0	0	-	-	-
川崎病	0	0	0	0	-	-	-
不明発疹症	0	0	0	0	-	-	-

栗原支所管内定点数: #は3施設。それ以外は2施設

2. 施設対応状況 (過去2週間における支所対応状況) ◎:複数対応中、○:対応施設あり、-:対応無し

施設区分	保育所	高齢者・障害者施設	医療機関
対応状況	○	◎	
備考	新型コロナウイルス感染症	新型コロナウイルス感染症	

*「1.発生動向」の解釈について

- ・上段は圏域全体で一週間に診断した患者数
- ・下段は一つの定点(医療機関)において一週間に診断した患者数
- ・下段の定点当たりの数値を表右側の判断基準と照らし合わせて評価してください。

3. 栗原支所より

【 定点把握対象疾患 】

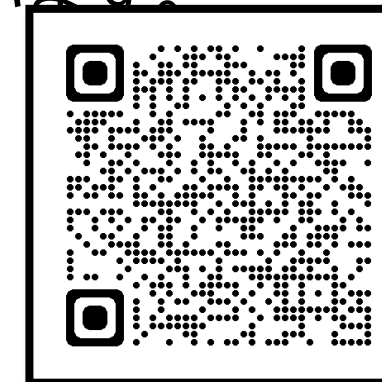
- ・インフルエンザは増加しました。
- ・新型コロナウイルス感染症は増加しました。
- ・感染性胃腸炎は減少しました。
- ・手足口病は減少しましたが、警報レベル継続中です。

【 集団発生情報 】

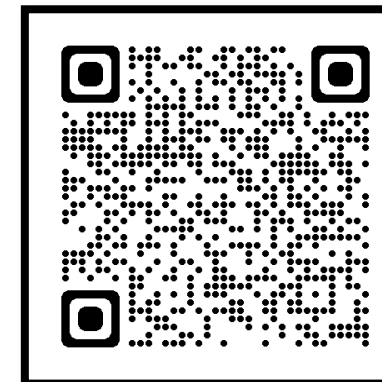
保育所、高齢者施設において新型コロナウイルス感染症の集団発生がありました。感染対策に努めましょう。

【 感染症コラム～ポリオ～ 】

- ・神経にも親和性があるポリオウイルスによる感染症です。
- ・ポリオウイルスは人の口の中に入って、腸の中で増えることで感染します。増えたポリオウイルスは、再び便の中に排泄され、この便を介してさらに他の人に感染します。成人が感染することもあります。乳幼児がかかることが多い病気です。
- ・腸管に入ったウイルスが脊髄の一部に入り込み、主に手や足に麻痺(小児麻痺)があらわれ、その麻痺が一生残ってしまうことがあります。
- ・日本においては、不活化ポリオワクチン(今年4月より5種混合ワクチン～ジフテリア、百日咳、破傷風、ポリオに加え、インフルエンザ菌B型が対応感染症～となっています。)を初回接種3回、追加接種1回、合計4回の接種をするシステムになっています。



感染症情報 ←



← 感染症検査

大崎保健所 栗原支所 疾病対策班
☎0228-22-2117 ☎0228-22-7594
HP:https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-khhwfz/ktindex.html